

共に伸び、共に輝け、感謝・感動

しなやか

えだわん

8
9月

えだわんだより

横浜市立荏田東第一小学校

◆〒224-0006 横浜市都筑区荏田東三丁目5番1号

◆Tel…045-941-7630 Fax…045-942-9464

◆http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edahigashi/

無事是宝～ぶじ これ たから～

学校長 熊谷 潤平

およそ60年もの間、2年生の国語教科書に載っている「スーホの白い馬（光村図書・大塚勇三作）」という物語があります。主人公スーホが大事に育てた白い馬は実に美しく、足も速い。殿様が催した競馬で、スーホ自慢の白馬は、飛ぶように駆け、抜群の速さを披露しました。

さて、こうした白馬とは対照的でも、怪我や病気なく無事に走り続ける馬を称える格言があります。「無事是名馬（ぶじこれめいば）」というものです。

登校再開を間近に控え、青空に映えるえだわんの校舎（8.26水鉄砲大会の日に）

私たちは人であり、ただ「無事・無難・健康」のみを追い求めていけばよいわけではないでしょう。まして学校は子どもたちの学力向上が使命です。「主体的、対話的で深い学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」「社会情動的コンピテンシーの育成」も時代の要請と言えます。

それでも、長い夏休みを終え、全校児童の無事を知ったとき、「無事是宝（ぶじこれたから）」と、しみじみ思います。いえ、思わずにはいられません。

無事是宝一。けがや病気をせず、あるいは乗り越え、事故・事件にも巻き込まれることなく無事今日を迎えることができた「えだわん」の子どもたちのしなやかさ・たくましさ・注意力・健康安全管理力を大いに称えたいと思います。そして、こうした子どもたちの無事を実現してくださった保護者の方々の細やかな指導・配慮、地域の皆さんの温かな見守り・声掛けに心から感謝申し上げます。

前号で私は、「誰一人、事故・事件に決してあうことなく、無事に夏を過ごせますように」「それぞれが思い出に残る、豊かな、すばらしい夏になりますように」と祈りました。果たして祈りは通じたのだろうか。本校に関して言うならば、祈りは天に通じてくれたか…もしれません。でも一方で、ひとたび全国に、世界に、目を向けたなら、海での事故、川での事故、酷暑による事故、信じられない大火災、想像を絶する大人同士の紛争等で、多くの尊い命が失われています。軽々に、単純に、「えだわんは無事でよかった」「祈りは通じた」とは言えません。

今日の休み明け朝会で、私は子どもたちに手紙を読みました。

今日、元気に学校へ来た子も、久しぶりで登校するのがしんどかった子も、
事情があって今日お休みしている子も、とっっても楽しい夏休みを過ごせた子も、
実はあんまり夏休みを楽しめなかった子も、

みんなみんな、「えだわん」の宝だよ。日本の、未来の宝だよ。

よくぞ無事に、今日この日を迎えました。私は、何よりそのことをほめたい。

そして何だか、「ありがとう。」って言いたい気持ちなんです。

またこれから、うれしいこと、楽しいこと、嫌なこと、苦しいこと、

たくさんあるかもしれないけれど、

一人一人、自分なりに、ゆっくりと、しなやかに、成長していこうね。

私も、大人だけれど、みんなと同じようにちゃんと成長していきたいと思っています。

一緒に成長していこうね。

立秋はとうに過ぎたというのに、猛暑はまだまだ続きそうです。子どもたちを注意深く見つめつつ、子どもたちに元気を与え、子どもたちから元気を貰い、休み明け、ますます感謝と感動いっぱいのでだわんにしていきたいと思っています。